

# 生活保護が「福祉」を捨てるとき

## ケースワーク外部委託の衝撃

2019年末、生活保護ケースワーク業務外部委託の検討方針が閣議決定されました。本会では、この方針には多くの問題点があると考えています。公的責任によるセーフティネットの在り方など、現場の意見を中心に議論します。ケースワーカーは「単なる計算ワーカー」となって良いのか？共に考えましょう。

日時

2020年 **9月12日** (土) 13:30~16:00

シンポジスト

- **中村 健 氏** (新潟大学)  
生活保護ケースワーカーの現状と課題  
～ブロック会議報告とソ教連調査の読み方～
- **谷口伊三美 氏** (元大阪市役所ケースワーカー)  
“委託先進都市”大阪市から考える
- **森下千鶴子 氏** (京都市南区保健福祉センター)  
職場から考えるケースワーカーの仕事づくり
- **鶴 幸一郎 氏** (日本精神保健福祉士協会・元社会保障問題検討委員会委員長)  
PSWが考える生活保護ケースワーカーの仕事  
～PSW調査を踏まえて～

コーディネーター

- **吉永 純 氏** (全国公的扶助研究会会長、花園大学)

その他、現場報告等予定

申込方法



QRコードからお申込ください。登録後、当日の「招待メール」が配信されます。

9/10申込〆切

zoom  
オンライン



主催：全国公的扶助研究会

問合せ：zennkoku\_koufukenn@yahoo.co.jp

(FAX) 050-3730-2116